

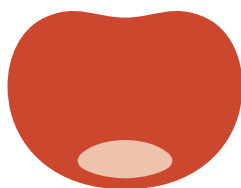
大分県福祉会報

第 88 号
2023 令和 5 年度

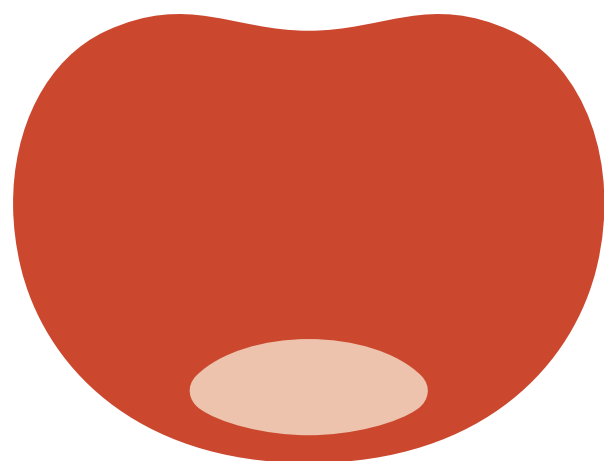


羽田東公園で遊ぶ、滝尾保育園の園児たち

Photo: Kaichiro Fujimoto



社会福祉法人
大分県福祉会



社会福祉法人 大分県福祉会

新しいロゴマークは、大きく笑った口のかたちと
ハートのかたちをあわせたデザインです。

ひとりの困りごとにも まなざしを向ける。

その結果として、たくさん子どもたち、

利用する人たち、地域の人たち、働くみんなが笑顔になる。

そして、より気持ちのこもった福祉の仕事をし、誇りをもつ。

そんな大分県福祉会の未来をあらわしています。

もくじ

3	もくじ・理事長挨拶
4-7	TOPICS
8	法人の理念
9-11	法人データ
12-13	法人からの報告
14-17	各施設からの報告・寄贈者一覧
18-19	法人概要
20	私たちの想いを伝えるメディア
21	社会貢献活動

会報をリニューアルしました

現在、大分県福祉会では、日々新たな取り組みをおこなっています。その一環として、「法人の魅力をもっと知ってもらいたい」「福祉のすそ野を広げたい」という思いから、職員を中心に会報のリニューアルに乗り出しました。「伝えたい情報は何か？」何度も協議を重ね、より当法人の魅力にフォーカスをした内容へと変更しました。リニューアルした会報を通じて、利用される方々やそのご家族、関係機関のみなさまに安心して利用していただける大分県福祉会をアピールしていきたいと考えています。また、福祉について考えるきっかけや、「いつか必要になるかもしれない情報」としてもご紹介できれば幸いです。

未来への希望を紡ぎ出し大きく前進

社会福祉法人 大分県福祉会
理事長 有松 一郎



このコロナ渦の4年間に福祉を取り巻く環境は大きく変化しました。国内経済の停滞や物価高騰が生活を直撃し、これまでの福祉サービスだけでは十分に支えきれないケースも見られます。さらにはコミュニケーションの停滞は、社会に孤立や分断をもたらした新たな社会問題となっています。人口減少問題も年々深刻度を増し、さまざまな分野での人手不足・担い手不足も顕著になりつつあります。このようななか、利用児者、ご家族のみなさまのご理解とご協力、関係機関のご支援・ご指導、各施設の役職員の高い緊張感と尽力により、今日まで大過なく過ごすことができました。心より感謝とお礼を申し上げます。

当法人では、2021年(令和3年)より

新たな取り組みとしてスタートした「ブランディングプロジェクト」も3年目を迎え、現場職員の情熱を源泉に多くの成果を生み出し、未来への希望を紡ぎ出しています。とくに、昨年採択された日本財団の「第2回みらいの福祉施設建築プロジェクト」は、現場の夢と希望をカタチにできた顕著な成果でした。さらに本年、当法人設立以来初となるロゴマークが制定され、今後ますます法人全体の結束力を高め、一人ひとりと向き合う、笑顔あふれる福祉の実現に向けて、大きく前進することができたと感じております。そして本年は、来年度から5年間の新たな中期計画策定の年でもあります。さらに頼もしくなった現場役職員とともに、新たな福祉ニーズに積極的にチャレンジできる

法人、これまで取り組んできた笑顔と信頼・安心安全な福祉サービスの提供、ガバナンスの確立や自己実現のできる職場づくり、より高度な経営基盤の確立や共感力の高い感性を涵養する人材育成、それらの取り組みを通じて創り出す豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

最後に、社会福祉法人に寄せられる期待は、年々大きくなっていると感じております。利用児者の幸福の追求はもちろんのこと、社会インフラの一部としての機能充実に對してさらなる取り組みが期待されています。今後とも私どもに寄せられた信頼と負託に全力で応えてまいり所存です。今後、ますますのご支援・ご協力をたまわりますことを心よりお願い申し上げます。

1 制度のはざまにいる子どものケアと ご近所さんの顔が見える拠点づくり「えんえん」 第2回 日本財団みらいの福祉建築プロジェクトに 採択されました

「えんえん」で目指していること

1、必要な人にちゃんと届く子育て支援

既存の仕組みではカバーできていない、実質的な実施が難しい0歳児の一時預かり保育、病後児保育、医療的ケア児を受け入れることで、制度のはざまにいる子どもたち一人ひとりに寄り添った保育を目指します。また、子育ての困りごとを抱えた家庭や貧困問題、いわゆるグレーゾーンの子どもの療育といった地域の「潜在的な課題」を見つけ、より広い子育て支援へとつなげていくことにも取り組んでいきます。

2、社会的孤立を減らす居場所を作りたい

ご近所さん同士の顔が見えるつながりや相談できる人、居場所を見つけられる拠点として、保育機能を中心に、地域に開かれた場をつくることで、子どもたちだけでなく、地域における、人々のつながりを育みなおしていくことを、目指します。

みらいの福祉建築 プロジェクトとは？

地域社会に貢献し、地域社会から愛され、地域福祉の拠点となる社会福祉施設の実現に向けて、事業実施団体と設計者の協働による建築デザイン提案を含む建築関連助成事業を募集する、日本財団が新たにスタートさせた助成プログラムです。近年、少子高齢化や多様性の尊重、コミュニティの希薄化といった社会背景の変化に伴い、福祉施設は多機能化や地域貢献への動きが活発となり、地域福祉を担う拠点としての役割が求められています。このプロジェクトは、そうした地域社会の構造の変化を見据え、福祉施設が地域課題を解決する地域づくり、まちづくりの核となることを目指します。



事業の概要と審査の講評



第2回再チャレンジ！採択に向けて課題を共有

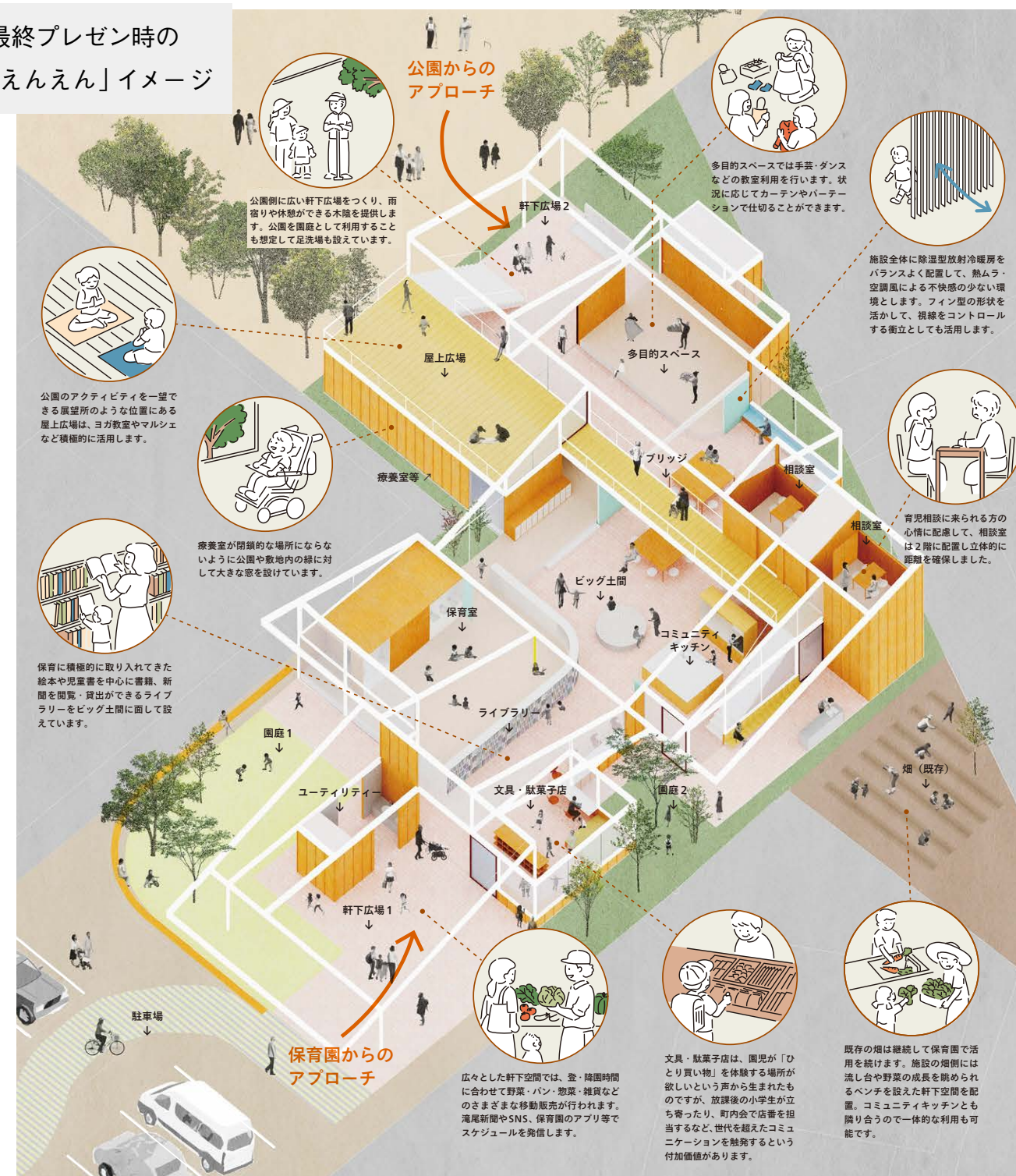


最終プレゼンテーション直前、話し合いはいいよいよ大詰め



最終プレゼンテーション用のパネルと模型

最終プレゼン時の 「えんえん」イメージ



採択後の活動

- ・プチマルシェ 月数回開催 出店者募集
 - ・たきお青空マルシェ 年2回開催 出店者募集
- ※次回は、2023年(令和5年)12月を予定しています。
- ・多目的スペース・軒下広場・コミュニティキッチンの利用者募集は施設完成後になります。ご興味のある方、内容について詳しく知りたい方は、滝尾保育園までご連絡ください。



たきお青空マルシェ



プチマルシェ

2 大分県福祉会 70周年

昨年、大分県福祉会は法人設立70周年を迎えました。それを機に70周年記念プロジェクト委員会が発足。ただ記念行事をおこなうのではなく、今後の法人の未来を考えるきっかけになるようなプロジェクトを目指しました。「オープンキャンパスのように各施設が相互に見学できたら、職員の横のつながりができる」「法人のブランディングについて具体的な事例を知り、より理解を深めてもらいたい」という2つの意見が企画の柱。2022年11月に各施設の見学会、同12月には70周年記念大会で、奈良を拠点に障がいのある方とともに活動する一般財団法人たんぽぽの家の常務理事 岡部太郎さんの講演とUMA/design farm 代表でデザイナーの原田祐馬さんとのトークセッションを開催しました。



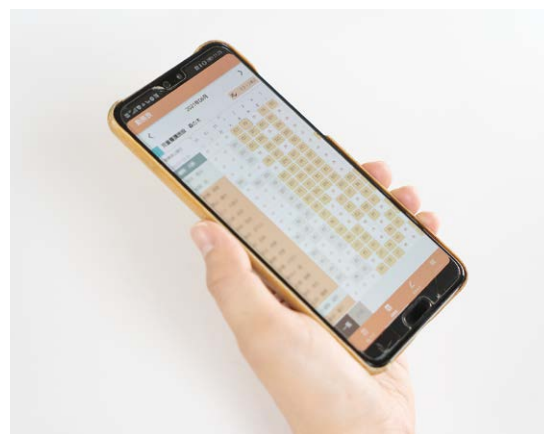
各施設の見学会後は「仕事内容への理解が深まった」「10年後はワンチームで新しいことに挑戦する法人でありたい」、講演会では「法人が目指す方向性が見えた、70周年にふさわしい内容だった」との意見があがっていました。

◀ 70周年ロゴマーク



3 明野しいのみ保育園 50周年

本年4月1日に創立50周年を迎えました。その節目を祝う行事として、2022年10月に親子レクリエーションを開催し、保育園で取り組んでいる体育遊びの講師を招き、親子でさまざまな体育遊びを楽しみました。また、2023年6月10日には記念式典を執り行い、たくさんのお祝いの言葉をいただきました。式典の最後には参加者全員で「50歳のお誕生日おめでとう」のかけ声でバルーンリリース。空高く舞い上がる風船を見ながら、今後10年20年さらにその先も子どもたち、保護者に寄り添い、地域とともに歩む保育園でありたいと気持ちを新たにしました。



4 ICTの導入

ここ数年、職員の働き方について検討を重ねていくなかで、ICTの導入を進めています。たとえば、LINE WORKS(ビジネスチャットツール)、X'sion(勤怠管理システム)、シフト君 NEO(勤務計画ソフトウェア)、milQ(シフト君と関連したスマートデバイス)、コードモン/ルクミー(登降園管理、保護者との連絡ツール)、福祉の森(支援記録ツール)などです。こうしたツールによって、さまざまなミッションに取り組む際や情報共有が必要な場面でも、タイムリーにコミュニケーションでき、チームとしての一体感、連携強化、業務の効率化に大きな成果を上げています。

5 採用Webサイト、法人パンフレット、法人Webサイト完成

法人の採用サイト、法人パンフレット、法人Webサイトが完成しました。みんなが笑顔になれる、生きやすい居場所づくりを進めている大分県福祉会の魅力をしっかり伝え、働く人が輝けることを知ってもらい、より多くの魅力的な人材が集まってもらえたらと期待が高まっています。法人Webサイトでは、パンフレットのデータ、福祉会報や職員が中心となつてつくっている社内報のバックナンバーも閲覧できるようになりました。ぜひご覧ください。



法人Webサイト

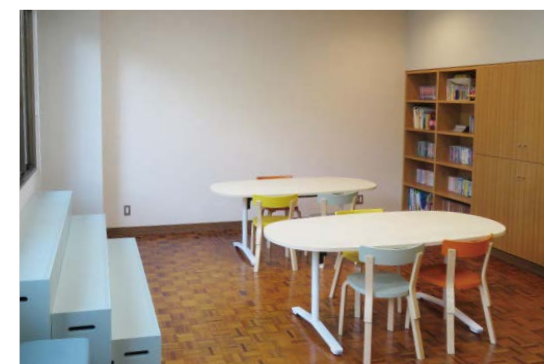


採用Webサイト



6 各施設の改築・改修

大分県福祉会では、利用される方々により良い環境で過ごしていただくために、そして時代に求められる福祉や保育の実現のために、施設の改築や改修を進めています。ここ数年では、明野しいのみ保育園の園舎を改築。新しい園舎は、毎日子どもたちの笑顔であふれています。母子生活支援施設 別府厚生館では、築40年以上経過した建物を、少しでも現代の親子生活に寄り添う環境に近づけるため、共用部や一部の居室を改修。生活のしやすい空間、安心して会話ができる落ち着いた雰囲気の相談室、園庭とみんなが集う空間をつなぐ階段のテラスなどが完成しています。そのほかにも、一時保護所では子どもたちの居場所を生むための空間をデザインし、児童養護施設 森の木では、将来の改修を視野に、子どもたちや職員が建築家と一緒にワークショップなどをしました。



別府厚生館



明野しいのみ保育園



森の木 一時保護所「明日葉」



森の木 ワークショップ

使命

ご利用者みなさまの最善の幸せを求めて

理念

1. 信頼と笑顔の大分県福祉会

- ・長い歴史で培った信頼される質の高いサービスを提供します
- ・人権擁護を基本に、ご利用者さま本位のサービスを提供します
- ・徹底した情報の公開を行います

3. 地域と協働する大分県福祉会

- ・地域社会と連携した施設運営を行います
- ・地域ニーズに基づくサービスを提供します
- ・施設機能及び資源を地域に開放します

2. 安全安心の大分県福祉会

- ・安全で安心できるサービスを提供します
- ・一人ひとりが大切にされていることを実感できるサービスを提供します
- ・苦情・相談体制を充実し、透明性の高いサービスを提供します

4. 自己実現できる大分県福祉会

- ・職員研修制度を充実し、キャリアアップを図ります
- ・個に応じたワークライフバランスを実現します
- ・福利厚生の充実を図ります

中期事業計画推進のための重点的取り組みと成果

中期事業計画（令和元年度～令和5年度）の進捗状況を確認しながら、必要な見直しをおこない、「業務、サービスの再構築（リブランディング）に取り組む」、「別府厚生館の居室改修を進めるとともに入居者増に向けて取り組む」、「森の木の多機能化・高機能化を図る」、「福祉サービスの新規事業を検討する」の4つの計画を進めた。持続的に成長できる魅力ある法人づくりをめざし重点的に次の項目に取り組みました。

また令和4年度は、法人設立70周年に当たり、法人の未来を考える契機となるようにプロジェクトチームによる記念事業を実施しました。

1. クリエイターとともに大分県福祉会の現状を正しく把握し、時代やニーズの変化に応じた業務・サービスの再構築を図る

- ・法人パンフレットが完成し、法人の事業内容を広く情報発信することができるようになった。
- ・社内報5号、6号、7号、8号を発刊し、職員間の相互理解を深めるため法人の情報共有に取り組んだ。
- ・「日本財団みらい福祉施設建築プロジェクト」に応募した新規事業案が採択された。
- ・ホームページの再構築に引き続き取り組んだ。
- ・コミュニケーションツールを導入し、事業所内外の連絡ツールとして活用を始めた。
- ・サーバーのクラウド化への移行を進めた。

2. 施設的环境整備及び多機能化・高機能化に取り組む

- ・別府厚生館は、修繕を中心に利用者の居住環境の整備をおこなった。
- ・森の木は、ショートステイ専用居室の整備に向け関係各所と協議をおこなうとともに、県南地域の子育て支援の諸課題に向き合うため地域小規模児童養護施設の開設準備をおこなった。

3. 福祉サービスの新規事業（農業）を具体化させる

- ・森の木隣接農地の所有者と土地の売買契約を締結し農地を取得した。

4. 働きやすい職場環境に取り組む

- ・アドバイザーが訪問し、職場環境の改善に向けた協議をおこなった。
- ・業務ソフト及び勤怠管理ソフトの活用が定着し業務の効率化ができた。

5. 人材育成のための研修を充実させる

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、外部研修はWebで受講し、法人内の各階層別研修を集合型で実施し、スキルアップに取り組んだ。

6. 国の処遇改善事業を活用し、本会キャリアアップ制度の充実を図る

- ・処遇改善事業を継続し、職員処遇の充実を図った。

7. 公益的事業の充実に努める

- ・各施設及び児童家庭支援センター、相談支援事業所等で実施している公益的取組は、コロナ禍においても継続実施することができた。

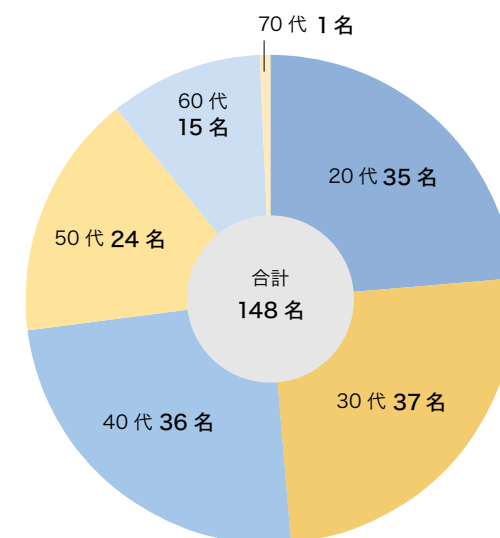
8. 感染症拡大防止対策の強化を図る

- ・新型コロナウイルス感染防止に徹底して取り組んできたが、第8波の時期には各事業所での感染が拡大した。危機管理の対応マニュアルによる対応を行い、重篤な事態は回避することができた。

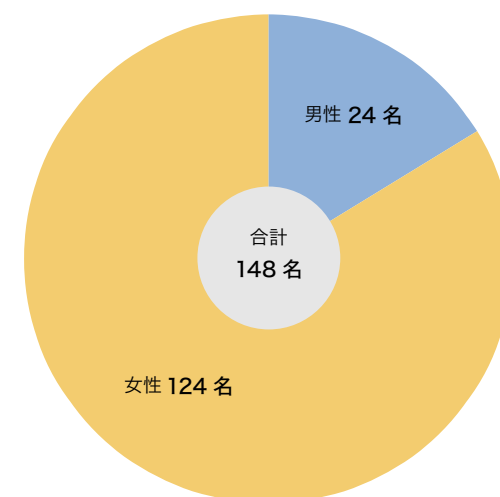
9. 法人設立70周年記念事業を実施

- ・記念式典及び記念講演会を開催した。
- ・職員による法人事業所の相互訪問事業、マルシェの実施、70周年スタンブやクリアファイルを作成した。
- ・70周年記念プロジェクト委員会報告書を取りまとめた。

年齢構成（全体）

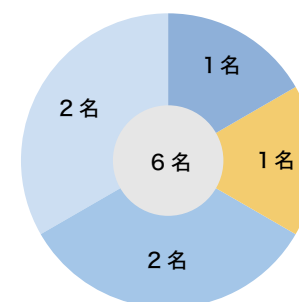


男女比（全体）

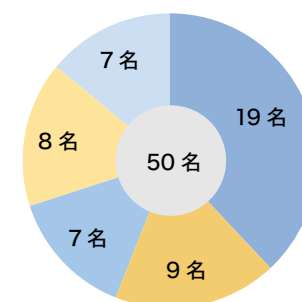


年齢構成（施設別）

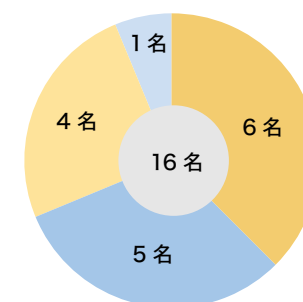
別府厚生館



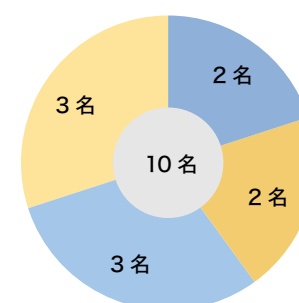
森の木



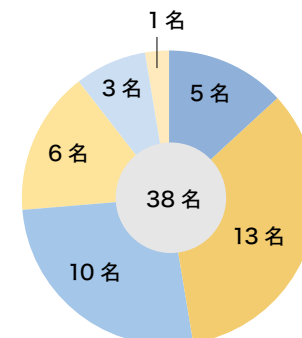
うえの園



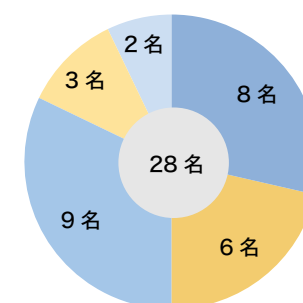
清明あけぼの



滝尾保育園



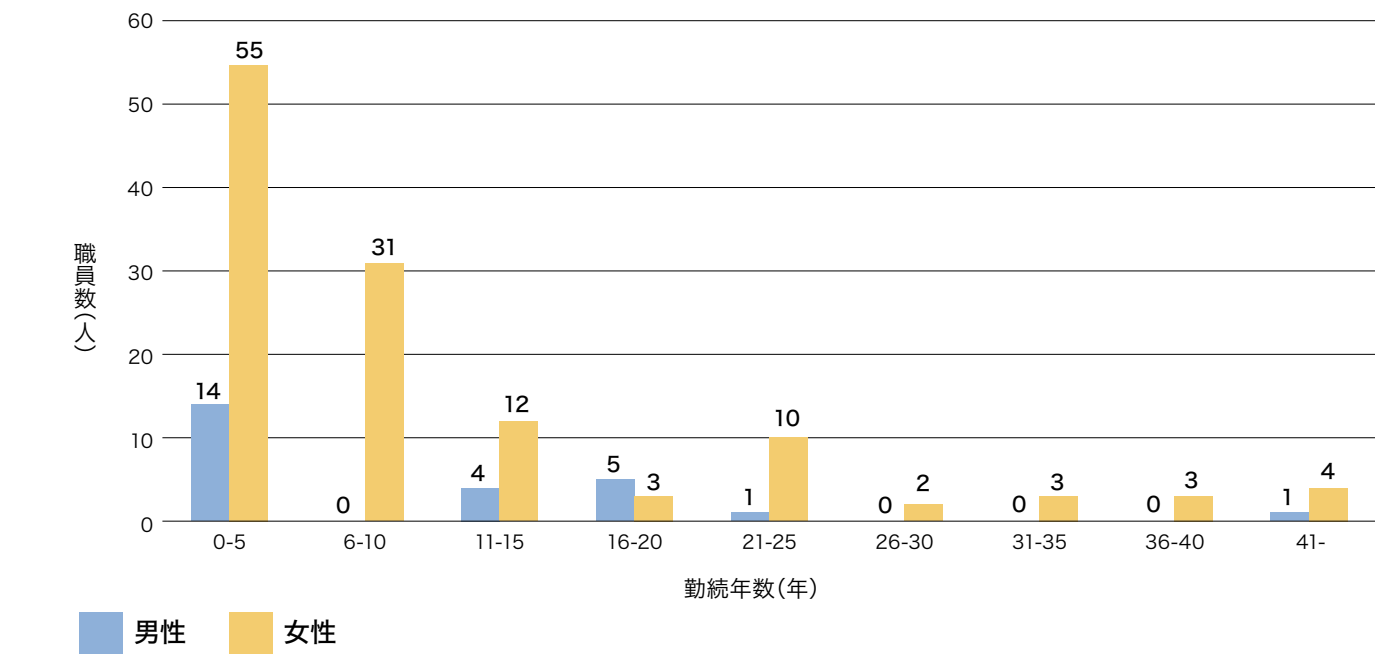
明野しいのみ保育園



20代 30代 40代 50代 60代 70代

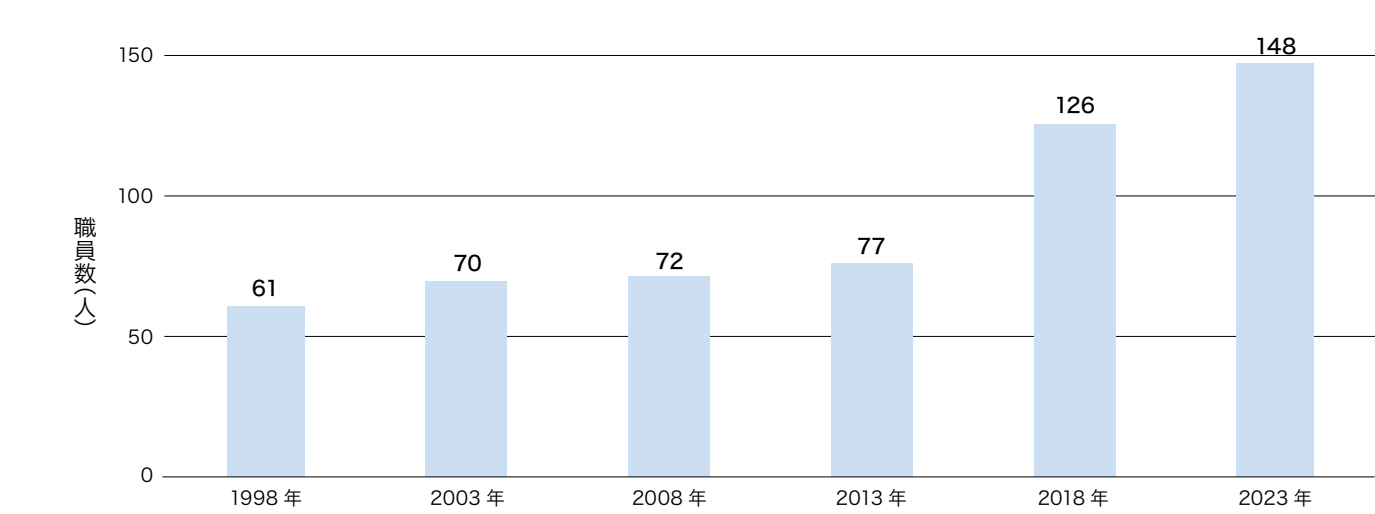
※ 2023(令和5)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。

勤続年数



※ 2023(令和5)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。

職員数推移



1999 年はうえの園の発足、2005 年は、大分市立わかば園と養護施設青松園を移転統合し、森の木が開園したことを受け、職員が増加してきました。その後の約 20 年間においても、地域小規模児童養護施設の開設、保育園の分園、児童クラブ、児童家庭支援センターや相談支援事業所の新設など、地域のニーズに合わせた事業展開をしたことで、職員の増員が続いています。

※ 2023(令和5)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。

職種構成

	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園
園長	1	1 * B	1 * B	1	1	1
副園長				1	1	
次長				2		
サービス管理責任者		1				
児童発達支援管理責任者			2 (うち1名 * D)			
母子支援員	3					
少年指導員	1 * A					
生活支援員		8				
児童指導員			3 (うち1名 * D)	9		
保育士			3	18	29	22
相談支援員		2		5		
職業指導員			1	1		
里親支援専門員				2		
家庭支援専門相談員				1		
心理職員	1			4		
栄養士		1		1	2	4
調理員		1	1	2	2	
看護師		1		1	2	1
放課後児童支援員					1	
事務員	1 * A	1	1 * C	2 (うち1名 * C)		
介助員				1		
合計	6	16	10	50	38	28

※ 2023(令和5)年4月1日現在。常勤職員のみ(パート・アルバイト含まず)。 * A、B、C、D は兼務。合計は兼務を除く。

実習受入数

実習受入数	33 校	延べ人数	82 名
受け入れ校の例			
大学 (県内)	大分大学 日本文理大学 立命館アジア太平洋大学 別府大学 別府大学短期大学部 別府溝部学園短期大学 東九州短期大学 大分県立芸術文化短期大学	大学 (県外)	九州保健福祉大学 福岡女学院 中村短期大学 香蘭短期大学 純真短期大学 福岡こども短期大学
専門学校 (県内)	智泉福祉専門学校 智泉幼児保育専門学校	専門学校 (県外)	福岡こども専門学校
高校	大分東明高等学校 大分南高等学校 大分商業高等学校 情報科学高等学校		

※ 2022(令和4)年度。

育休取得人数 (過去5年)

別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
0	0	0	9	8	4	21

※ 2018(平成30)年4月1日～2023(令和5)年3月31日。

法人からの報告

夏期研修会

4年ぶりに各施設が集まっての夏期職員研修会がトキハ会館で開催されました。まずは、滝尾保育園みらいプロジェクトの取り組みの報告会がありました。その報告会をもとにグループワークがあり、各施設混合のテーブルそれぞれが、未来へ向けてできることを考える機会となりました。また、5年ぶりにおこなわれた海外研修の発表後に、ブランディング委員会で検討を重ねた、大分県福祉会のロゴマークのお披露目がありました。研修会後の意見交換会では、他施設の職員と交流を深める良い時間を過ごすことができました。



3月定時理事会 2023/03/28

①保育施設等複合施設の整備 ②森の木隣接農地の取得 ③規則改正（定款、定款細則、経理規程、給与規則、役員等の報酬等に関する規程、育児休業等に関する規則、運営規定）④令和4年度補正予算に係る積立資産の取崩 ⑤令和4年度第1次および第3次補正予算 ⑥令和5年度当初予算に係る積立資産の取崩および目的外使用 ⑦令和5年度事業計画および当初予算について審議をおこない、いずれも原案どおり承認された。報告事項では、職務執行状況、大分県指導監査結果、令和4年度第2回福祉サービス運営委員会、令和4年度末人事異動、職員の懲戒処分について報告をおこなった。

5月定時理事会 2023/05/22

①規則改正（定款変更、給与規則、旅費規則）②森の木子育て短期支援大分市専用室整備事業 ③令和4年度第四次補正予算について ④令和4年度事業報告および決算 ⑤令和4年度監査報告 ⑥令和5年度第1次補正予算 ⑦定時評議員会の開催および評議員会に推薦する役員候補者の選任について審議をおこない、いずれも原案どおり承認された。報告事項では、職務執行状況の報告、森の木隣接農地取得、「えんえん」の取り組み状況、森の木基金利用実績、令和4年度ブランディング委員会、今後の予定について報告をおこなった。

6月定時評議員会 2023/06/27

①規則改正（定款、役員等の報酬に関する規程）②令和4年度事業報告および決算 ③監査報告 ④役員の選任について審議をおこないいずれも原案どおり承認された。報告事項として、令和4年度事業計画および当初予算資料を添付したこと、滝尾保育園新規事業（みらい福祉建築プロジェクト）、森の木隣接農地取得、今後の予定（夏期職員研修会）について報告をおこなった。

6月臨時理事会 2023/06/27

①理事長および常務理事の選任を行った。報告事項として、「えんえん」についての経過報告をおこなった。

福祉サービス 運営委員会

令和4年度第2回福祉サービス運営委員会が、令和5年3月23日（木）14時から、本部会議室において開催された。理事長、仲元研二委員長の挨拶の後、4年度後期の本部および各施設の重点的取組や法人の状況、利用者等からの苦情、要望、事故報告、ヒヤリハットが報告されその対応について協議がおこなわれた。

委員から、施設設備を地域住民の緊急避難場所として利用やコロナで中止となっていた地域行事の再開を望む意見、地域行事での近隣住民からの苦情に対する対応、感染症の影響で行事を振りかえて実施したこと等について、事業所から対応について説明をおこなった。

総評では、法人本部、各施設とも活動目標を定めて取り組んでいる、苦情の申し出があった場合、情報格差があるところに誤解や行き違いが生まれるので、情報開示、情報共有をする、理不尽な苦情、クレームを言われる方には、その時点でできることできないことをはっきりと伝える、改善すべき点はきちんと伝え理解していただく。苦情解決に関する研修受講が必要とのご意見をいただいた。苦情の内容について相手が感じた思いを謙虚に受け止め、しっかり取り組む姿勢で対応している。振り返りをおこない積み重ねることで我々も大きく生まれ変われることになるかと信じている。施設一丸となってチームワークを発揮して取り組んでいきたいとの理事長のあいさつで会を閉じた。

法人からの報告

2022（令和4）年度の法人本部、および各施設の収支報告です。
大分県福祉社会事務局及び各施設においては、関係書類の閲覧に応じる用意があります。

単位：円

資金収支計算書

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
事業活動収入	889	37,745,554	143,987,865	77,194,165	347,626,809	271,723,684	194,459,578	1,072,738,544
事業活動支出	18,312,934	44,339,214	137,282,157	78,124,996	327,818,061	270,082,503	187,454,833	1,063,414,698
事業活動資金収支差額	△ 18,312,045	△ 6,593,660	6,705,708	△ 930,831	19,808,748	1,641,181	7,004,745	9,323,846
施設整備等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出	2,278,320	0	903,699	902,550	13,881,261	6,853,700	6,421,200	31,240,730
施設整備等資金収支差額	△ 2,278,320	0	△ 903,699	△ 902,550	△ 13,881,261	△ 6,853,700	△ 6,421,200	△ 31,240,730
その他の活動収入	21,434,440	7,000,000	5,900,000	6,000,000	33,039,000	10,133,200	126,800	83,633,440
その他の活動支出	112,320	1,917,644	6,012,179	2,049,017	43,151,780	6,971,476	5,515,884	65,730,300
その他の活動資金収支差額	21,322,120	5,082,356	△ 112,179	3,950,983	△ 10,112,780	3,161,724	△ 5,389,084	17,903,140
当期資金収支差額	731,755	△ 1,511,304	5,689,830	2,117,602	△ 4,185,293	△ 2,050,795	△ 4,805,539	△ 4,013,744
前期末支払資金残高	1,525,923	6,382,230	23,037,977	14,749,126	52,488,608	5,689,959	23,338,969	127,212,792
当期末支払資金残高	2,257,678	4,870,926	28,727,807	16,866,728	48,303,315	3,639,164	18,533,430	123,199,048

事業活動計算書

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
サービス活動収益計	0	35,981,038	142,973,540	75,901,116	341,147,334	267,608,958	192,289,586	1,055,901,572
サービス活動費用計	20,854,479	46,053,336	141,916,628	78,899,437	330,337,124	279,899,261	195,668,900	1,093,629,165
サービス活動増減差額	△ 20,854,479	△ 10,072,298	1,056,912	△ 2,998,321	10,810,210	△ 12,290,303	△ 3,379,314	△ 37,727,593
サービス活動外収益計	120,889	1,764,516	1,014,325	1,293,049	6,122,265	4,114,726	2,043,192	16,472,962
サービス活動外費用計	0	0	431,419	423,114	2,575,670	712,591	449,741	4,592,535
サービス活動外増減差額	120,889	1,764,516	582,906	869,935	3,546,595	3,402,135	1,593,451	11,880,427
特別収益計	21,314,440	0	0	0	0	133,200	126,800	21,574,440
特別費用計	1	1,483,964	3,318,542	1,978,697	11,579,641	4,314,159	3,919,324	26,594,328
特別増減差額	21,314,439	△ 1,483,964	△ 3,318,542	△ 1,978,697	△ 11,579,641	△ 4,180,959	△ 3,792,524	△ 5,019,888
当期活動増減差額	580,849	△ 9,791,746	△ 1,678,724	△ 4,107,083	2,777,164	△ 13,069,127	△ 5,578,387	△ 30,867,054
前期繰越活動増減差額	△ 15,600,264	37,209,831	65,201,631	20,604,545	168,923,021	61,092,697	53,002,262	390,433,723
当期末繰越活動増減差額	△ 15,019,415	27,418,085	63,522,907	16,497,462	171,700,185	47,890,370	47,423,875	359,433,469
その他の積立金取崩額	0	7,000,000	5,900,000	6,000,000	10,000,000	10,000,000	0	38,900,000
その他の積立金積立額	112,320	0	2,000,000	0	9,000,000	0	0	11,112,320
次期繰越活動増減差額	△ 15,131,735	34,418,085	67,422,907	22,497,462	172,700,185	57,890,370	47,423,875	387,221,149

貸借対照表

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
流動資産	3,050,509	9,649,948	32,743,385	19,788,176	61,440,302	14,834,532	24,636,416	166,143,268
固定資産	11,346,972	76,653,478	185,279,629	70,921,867	533,398,874	406,053,611	466,945,234	1,750,599,665
資産の部合計	14,397,481	86,303,426	218,023,014	90,710,043	594,839,176	420,888,143	491,581,650	1,916,742,933
流動負債	3,071,151	4,779,022	4,015,578	2,921,448	16,136,987	16,547,368	12,114,986	59,586,540
固定負債	2,659,620	6,115,074	11,986,834	5,900,232	23,846,973	141,455,977	163,745,776	355,710,486
負債の部合計	5,730,771	10,894,096	16,002,412	8,821,680	39,983,960	158,003,345	175,860,762	415,297,026
基本金	23,798,445	0	0	0	0	19,557,000	30,312,000	73,667,445
国庫補助金等特別積立金	0	20,291,245	119,037,695	39,065,901	140,605,031	177,437,428	216,035,013	712,472,313
その他の積立金	0	20,700,000	15,560,000	20,325,000	241,550,000	8,000,000	21,950,000	328,085,000
次期繰越活動増減差額	△ 15,131,735	34,418,085	67,422,907	22,497,462	172,700,185	57,890,370	47,423,875	387,221,149
純資産の部合計	8,666,710	75,409,330	202,020,602	81,888,363	554,855,216	262,884,798	315,720,888	1,501,445,907
負債及び純資産の部合計	14,397,481	86,303,426	218,023,014	90,710,043	594,839,176	420,888,143	491,581,650	1,916,742,933

※ 2023（令和5）年3月31日現在。

人事異動（令和5年4月1日付）

【昇格】
《別府厚生館》
サブリーダー 米野智恵
《うえの園》
サブリーダー 山本浩史
《清明あけぼの学園》
サブリーダー 佐藤小乃枝
《明野しいのみ保育園》
サブリーダー 谷川真希
サブリーダー 原尻苑子
《森の木》
サブリーダー 徳田龍成
サブリーダー 甲斐翔子
サブリーダー 佐藤美穂

《滝尾保育園》
サブリーダー 波多野加奈子

【転任】
《森の木》
上條智宣（うえの園）

【新採用】
《うえの園》
衛藤敦平
《清明あけぼの学園》
村上美穂
麻生暢昭
《森の木》
三股裕子
立花奈穂
衆原清紀
田野有美

《滝尾保育園》
釘宮麻由
柳原佳菜子
吉井由香
《明野しいのみ保育園》
菊池桃子

【再雇用】
《滝尾保育園》
次長 釘宮和代（副園長）

【退職】
《うえの園》
宮成俊佑
《森の木》
佐々木智美
池上志学

挟間雅裕
小代歩佳
《明野しいのみ保育園》
岩本知佳

【訃報】
令和5年7月21日、元法人事務局長を務めた山本芳直様が逝去しました。80歳でした。平成15年から別府厚生館館長、森の木施設長、滝尾保育園園長を歴任しました。法人発展に尽くされたご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

定員 16 世帯 現員 11 世帯 (2023年8月末時点)

重点課題・進捗状況

「ひとり親家庭が安全安心に養育に取り組める支援を強化する」ことを最重点課題とし、母子生活支援施設だからこそできる“親（母親）と子を分離しないケア”をはじめ、家族関係再構築、アフターケアなどの支援の強化も目指しています。また、設備面も含めた支援における安全計画の策定が今年度の課題です。限られた職員数で施設運営を計画的に進めることは難しいこともありますが、チームで協力しながら取り組んでいきます。

力を入れていること

現在7つの委員会を組織し、定期的に話し合いの場を設けています。施設内での危険リスクを減らすための施設環境の見直しをはじめ、職員は日々、目配り気配りを欠かさず、別府厚生館で暮らす母親や子どもたちが安心して生活を送っていけるように努めています。施設機能を活用する取り組みの一つとして、清明あけぼの学園と連携。当館の居室を自活訓練の場に提供し、職員が見守る活動もおこなっています。



館長 安東 一夫

母親や子どもたち、ひとり親家庭の多岐にわたる課題に向き合うため、暫定定員を脱却し、安定経営をおこなうことが必須であり喫緊の課題です。そのうえで、親子再構築支援に力を入れるとともに、入所者支援としての親子を支えるスキルを活かしながら、子育て支援拠点として地域と関わりをもてる施設を目指しています。



定員 44 名 現員 33 名 (2023年8月末時点)

重点課題・進捗状況

安全・安心な生活環境のなかで、子どもの多様性を尊重し、寄り添い、個別のニーズに応じた養育・支援をおこなっています。また、「大分県社会的養育推進計画（施設の多機能化）の着実な遂行」として、2か所の児童家庭支援センターを中心に、要保護・要支援家庭への支援や地域の子育て家庭支援、生活困窮世帯への支援など、在宅支援機能の充実強化にも取り組んでいます。

力を入れていること

被措置児童虐待防止委員会や聴き耳頭巾相談委員会などさまざまな委員会を設置し、子どもたちが安心して生活できるように取り組んでいます。子どもたちに農業体験の機会を作るため、隣接地開拓委員会も新たに作り、その第一歩として、敷地内の花壇で子どもたちと野菜を育てています。また、働き方改革委員会では、休憩室を整備するなどして職員が働きやすい環境づくりに努めています。



施設長 安藤 寛

社会的養護の最前線に立つ施設として、地域の子育て家庭の多様なニーズに応える地域支援から入所後の個別的養育、退所後の地域支援までの連続性をもった取り組みが求められています。こうした取り組みを着実に実践していくことで、地域から信頼され、地域に必要とされる施設を目指していきたいです。



定員 20 名 現員 20 名 (2023年8月末時点)

重点課題・進捗状況

信頼される質の高い支援を目指して、個別支援の充実を図っています。強度行動障害支援者養成研修の受講者5名を中心に、日常生活における行動特性を理解し、支援に生かすことで穏やかな生活ができています。視覚障がいや強度行動障がいのある方が一緒に生活する場であるため、専門性やチーム力を活かし、住んでいる方や通われてくる方も楽しく生活ができるよう努めています。

力を入れていること

新規事業検討委員会では、障がいがあることによる困りを解消するために、新たなサービス提供を検討しています。障がいがあることで、どんな困りがあるかリサーチをしたり、制度や予算のことなどを調べたりしながら進めています。また、ノーリフティングケアにも力を入れ、介護福祉士の資格を持つ職員の指導のもと、各職員がスキルを磨き、リフトや機械浴を活用しています。



園長 関谷 眞佐子

コロナ禍を経て、短期入所事業や日中一時支援事業などの地域で安全安心な生活続けるために必要な事業については、どんな状況でも利用できるように、今後、取り組む必要があると感じています。障がいのある人もない人も暮らしやすい地域福祉、そこで働く人にとっても優しい施設を目指しています。



定員 10 名 現員 10 名 (2023年8月末時点)

重点課題・進捗状況

学校卒業後の生活を見据えたトレーニングや経験を重ねることで、子ども自身の成長が見られ、心が安定し、進路と一緒に考えることができるようになっています。また、アフターフォローとして、今年度卒園した子どもたちが、学園に宿泊できる交流会を企画しました。在園の子どもたちにとっては、卒園した先輩たちの姿を見て、将来を思い描く機会になるので、これからも続けていきたいです。

力を入れていること

トラウマを抱えている子どもたちに効果的な支援をしていけるよう、外部講師と連携してトラウマインフォームドケア(TIC)に取り組んでいます。子どもたちが自分のことを知り、心と体を大切にできるよう、一歩踏み込んだ性教育にも力を入れています。身体障がいのある子どもたちには、ノーリフティングケアを始めました。うえの園の介護福祉士資格を持つ職員から、移乗やリフト、機械浴の方法などの指導を受けています。



園長 関谷 眞佐子

一人ひとり障がいの特性は違い、目指す生活のスタイルも違います。子どもにあった目標と、日々の経験の積み重ねが成長を促します。多岐にわたってチャレンジできる機会を作り、自己効力感を育みたい。地域福祉を支える地域資源として、短期入所事業や日中一時支援事業の充実も目指しています。



定員 200名 現員 213名 (2023年8月末時点)

重点課題・進捗状況

主体的、対話的な学びのある保育の実現を重点課題としています。子どもが見通しをもって生活できるよう、室内の環境構成や生活日課を工夫しています。また、定期的に園内研修を実施し、子どもとの関わり方の質を深めています。一人ひとりの子どもは自分なりの意図をもって遊びに没頭するようになり、達成感や自己充実感を味わう場面が増えました。身の回りの事象に気づく力や挑戦しようとする力も育っています。

力を入れていること

現在五つの委員会があります。一昨年から開催している「たきお青空マルシェ」では、運営委員会が中心となって計画・進行し、地域の方に手作り雑貨のブースやキッチンカーを出店してもらいました。「プチマルシェ」では、市内の飲食店の方などが、定期的に夕方から出店をしてくれています。地域の方と子どもたち・保護者とのつながりが深まる場となっています。



園長 堤 郁夫

子どもにとって最大の環境は“人”です。子どもは、大人の言動や視線などに敏感です。安心して過ごせる環境の中でこそ、自己実現し、成長できます。私たち職員が子どもとの関わり方の質の向上を目指すことに終わりはありません。そして、人権を大切にすることを持ち続けていきたいです。



定員 152名 現員 153名 (2023年8月末時点)

重点課題・進捗状況

感性を磨き、思いやりの心を育むわらべ歌遊びを取り入れ、実践研修の中で「子どもが主体」の保育内容の充実を図っています。また、効果的な情報発信による保護者や地域との連携、人権を大切にした保育の環境づくりに努めています。安心して働き続けられる職場を目指して、個々の才能やスキルを最大限活かせる環境、働きやすい人間関係づくりをしています。

力を入れていること

わらべうた遊びの年間計画を立て、外部講師の講義を受けたり、職員が実践発表をしたりしています。職員間で意見交換や情報共有し、一人ひとりの保育の質の向上と保育方針における共通認識をもつようにしています。また、それぞれの年齢に合ったわらべうたや遊びを調べ、持ち寄ることで、さまざまな遊び方があることを知り、保育に取り入れて学びを深めています。



園長 阿南 奈緒美

「子どもの主体性の尊重」実現のため、いわゆる一斉の保育から子どもの主体的な遊びを大切に保育へと手法を変更していくなかで、更新を図り続けることが課題です。その要となるのは、人的環境だと考えています。良い人材確保のため、風通しの良い風土づくりと働き方改革を進めていきたいです。



相談支援事業所 うえの園

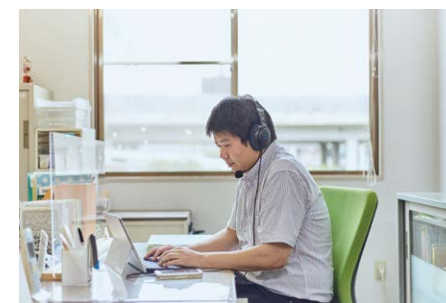
相談支援事業所うえの園では障がいがある方やご家族の気持ち、想いに寄り添い、その人が快適に地域生活や社会生活を送ることが出来るようにサポートをおこなっています。

相談支援専門員が、障がいのある方やご家族の皆さまからの相談に応じ、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害福祉サービスなどをご利用の際に必要な、「サービス等利用計画および障害児支援利

用計画」を作成いたします。また、作成したサービス等利用計画が最適かどうかを一定期間ごとにモニタリングし、必要であれば見直しや修正をおこないより良い生活を送れるようにします。

TEL:097-574-8535

【ご利用時間】月曜日～土曜日（祝祭日は除く）
10:00～19:00 | 皆さまの「これから」を一緒に考えます。お気軽にご相談ください。



相談支援専門員が、障がいをお持ちの方やご家族の皆さまからの相談に応じます

児童家庭支援センター ゆずりは / HOPE

児童家庭支援センターは、児童福祉法によって設置されている相談機関です。子どもの発達や子育てに関することや家庭、学校、毎日の生活のことなど、どんなことでも相談できます。保護者の方、子ども本人、地域の方など、どんな方のご相談にも応じ、相談支援員や心理士が、お電話や訪問、来所によってお話をうかがいます。

・ショートステイ / トワイライトステイ事業…大分市や県南地域の市町村からの委託

を受け、ショートステイ・トワイライトステイ事業をおこなっています。

・大分くらしサポート事業…生計困難者等に対する生活・相談支援事業に参画しています。生活困窮者へ物資援助と支援、3ヶ月間の見守りをおこないます。

・子育てサロンるんるん♪（ゆずりはのみ）…保護者の負担軽減や子どもへの体験活動の提供など家庭支援のため毎月第4土日にゆずりはや近隣施設で実施しています。



子育てサロンるんるん♪の活動風景

令和4年度寄贈者一覧

たくさんのご支援、ありがとうございました（順不同・敬称略）

別府厚生館

一般社団法人バンクフォースマイルズ、宇都時代、NPO法人アスバル、NPO法人ラフターヨガジャパン、大分中央ローターアクトクラブ、小野梅子、株式会社ドミノ・ピザ・ジャパン、九州アイスクリーム協会、九州納豆組合、餃子の王将、公益財団法人資生堂社会福祉事業財団、国際ソロプチミスト 大分みどり、佐藤みどり、末永昌久、大法輪寺、中村雅子、中野緑里、野中博美、ペットフレンドおいた、別府中央ライオンズクラブ女性部、べっぴん日出農業協同組合、ボランティア連絡会、ロクシタンジャポン株式会社

森の木

安土文造・美保、荒木正和、安東順子、赤尾かおり、小野健司、麻生正義、安部眞一郎、阿部寿恵、安養寺、株式会社イエロースタジオ、岩崎淳、イオン九州株式会社、飯倉安隆、株式会社YES、池辺由美子、糸永和人、株式会社インホープ、上野ひろ子、上野美智子、宇留島エツ子、衛藤祐太郎、株式会社AIC、大分県遊技業協同組合、大分県養豚協会、大塚喜久男、株式会社大分エージェンシー、大分キャピタルロータリークラブ、大分県農業共済組合連合会、おいたのヨゼフおじさん、大分梅花ライオンズクラブ、大和和佳子、小野悦子、加藤恵子、カーブス大分萩原店、賀来校区民生委員、加藤裕子、辛島賢士、神田昌利、九州アイスクリーム協会、九州納豆組合大分支部、九州労働金庫、清國祐紀、黒木亜沙江、黒木正道、株式会社グランディーズ、小藪正男、小丸豪、河野博明、湖月下郡店、心Reborn協会、小橋健治、此本卓弥、小山浩、財津レイ子、佐藤勝彦、佐世達哉、農業生産法人株式会社サニーブレイスファーム、常和会森という歯科医院、木元修司、日本製鐵労働組合、菅田正臣、菅家修一、杉田和博、CPセントラルパーク、全国チャンメリー協同組合、タナベ、大法輪寺別府病院、たきお子ども食堂、第一生命労働組合大分支部、大法輪寺、株式会社ダイヤモンド、大和冷機労働組合、佐藤隆彦、株式会社Daska&Desiree、田中良美、谷井由美子、株式会社CHIMNEY TOWN、つばさ歯科、天使のおやつ、豊岡真由実、ナミエル、永井悠介、中川歯科医院、永嶋辰也、長野比呂志、仲道佐喜郎、日建総合建設、二宮歯科、橋本

まゆみ、安部雅己、橋本まなみ、畑本慎一、花井和子、豊東成実、藤島良司、フィリップモリスジャパン合同会社、福盛昭義、パンカフェ Coduchi 清水治光、株式会社フレーベル館出版本部、株式会社ブレナス、豊後魂、中間朋海、ほっともっと、株式会社HORIBUN、松下清高、NPO法人オーバー ももたらう、溝邊博見、松村有格、三浦テルヨ、NPO法人むぎの会、有限会社村松水産、有限会社明友社、森崎弘子、門司一徹、高司洋志、吉野國彦、吉田台楓、吉田昭利、了戒智恵美、渡辺和郎、渡邊淳二、渡辺萬里江、羽田歯科医院、株式会社プラステン、株式会社タカフジ、尾崎隆、財団法人日本児童養護施設財団、ゆうび株式会社

うえの園・清明あけぼの学園

イオン九州イオンパークブレイス大分、大分県立爽風館高等学校通信制生徒会、一般財団法人シニアライフ大分県信基金、竹田ライオンズクラブ、九電工、二豊フーズ株式会社、明治地区自治会長、CPセントラルパーク、九電QAN、永松文子、中野恵介、飛瀬麻美、園田（匿名）、後藤（匿名）

滝尾保育園

緑風苑、滝尾保育園保護者会、日本サッカー協会、大分県ラグビーフットボール協会

明野しいのみ保育園

明野しいのみ保育園保護者会、日本サッカー協会

みなさまからいただいた寄付は、現在利用している方々のためや、将来のより良い環境づくりのためなどに役立てています。より良い福祉の実現に向けて、みなさまのご支援を心よりお願い申し上げます。
寄付・寄贈をご検討中の方は、法人本部もしくは各施設へ事前にご相談ください。

概要

法人名	社会福祉法人 大分県福祉会
所在地	〒870-0025 大分県大分市顕徳町1丁目13-17
電話番号	097-532-3472
FAX 番号	097-532-3475
代表者	理事長 有松 一郎
運営施設	母子生活支援施設 別府厚生館 障害者支援施設 うえの園 相談支援事業所 うえの園 障害児入所施設 清明あけぼの学園 児童養護施設 森の木 地域小規模児童養護施設 きんもくせい 地域小規模児童養護施設 さくら 児童家庭支援センター ゆずりは 児童家庭支援センター HOPE 一時保護所 明日葉 保育所 滝尾保育園 保育所 明野しいのみ保育園

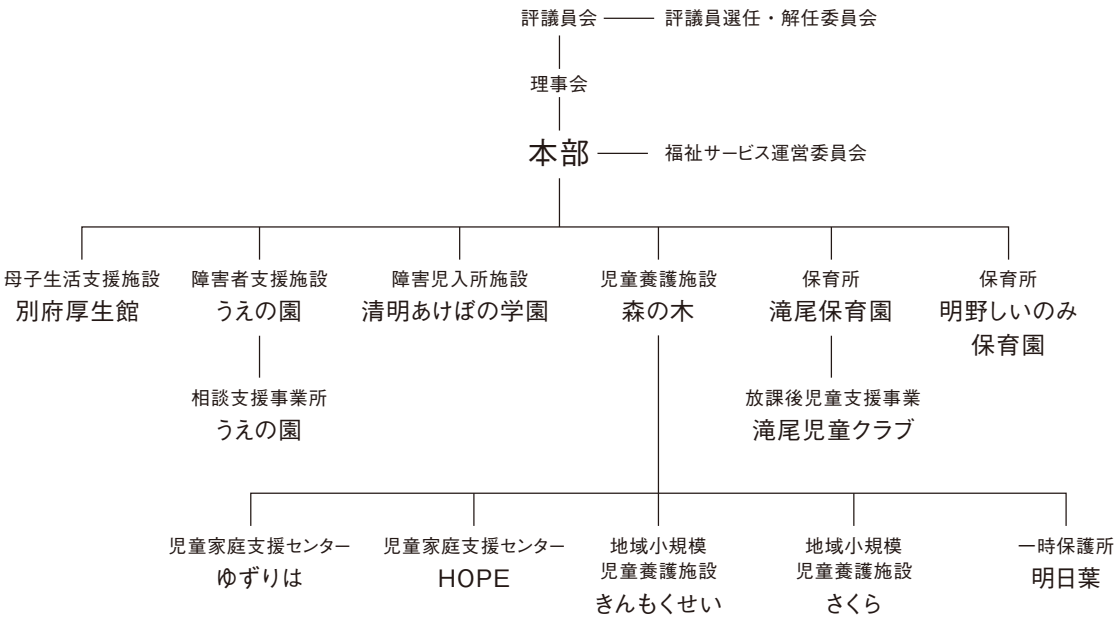
評議員・理事・監事

【評議員】		
氏名	就任年月日	
麻生 栄作	平成29年4月1日	
衛藤 憲一	平成29年4月1日	
岡村 邦彦	平成29年4月1日	
工藤 修一	平成29年4月1日	
齋藤 國芳	平成29年4月1日	
秦 昭二	平成29年4月1日	
仲元 研二	平成29年4月1日	
平岩 純子	平成29年4月1日	

【法人役員】		
役職	氏名	就任年月日
理事長	有松 一郎	平成19年5月30日
常務理事	安東 一夫	令和3年6月18日
理事	後藤 哲臣	平成23年5月31日
理事	釘宮 和代	平成30年4月1日
理事	橋本 均	令和3年6月18日
理事	安藤 覚	令和4年4月1日
監事	此本 浩毅	令和2年9月18日
監事	永岡 壯三	令和3年6月18日

※任期…評議員：令和3年6月18日から令和7年定時評議員会まで、
理事・監事：令和5年6月27日から令和7年定時評議員会まで

組織図



沿革

大分県福祉会の前身は、社会福祉・社会保障などに関する大分県の4団体が統合された財団法人大分県福祉事業協会です。1952年に社会福祉法人となり、現在のような子どもや母子、子どもの未来に関係するさまざまな特性の6施設を運営するにいたります。

1945(昭和20)年	恩賜財団軍人援護会大分支部が、別府市で別府厚生館を設立。別府市で、母子寮ならびに保育事業を開始
1949(昭和24)年	児童福祉法の施行に伴い、大分県が大分県盲児施設清明寮を創設。大分県児童福祉協会に経営を委託
1950(昭和25)年	大分県ろうあ児施設あけぼの寮が発足
1951(昭和26)年	恩賜財団同胞援護会大分県支部、大分県民生委員連盟、大分県社会援護協会、大分県児童福祉協会が統合され、財団法人大分縣社会福祉事業協会が設立される。それぞれの運営施設を財団が継承
1952(昭和27)年	財団法人大分縣社会福祉事業協会から、社会福祉法人大分縣社会福祉事業協会へと組織変更。名称を社会福祉法人 大分県福祉会に変更する 矢野 六七吉、初代会長就任
1958(昭和33)年	養護施設春日園の経営を引き継ぎ、新たに養護施設青松園が開園 ※2005年にわかば園と青松園は統合され、児童養護施設森の木となる
1962(昭和37)年	有松岩彦、二代目会長就任
1966(昭和41)年	大分厚生館(母子寮)、大分洋裁授産場廃止
1968(昭和43)年	滝尾保育園が開園
1969(昭和44)年	ろうあ児施設あけぼの寮をあけぼの学園と改称
1971(昭和46)年	大分県盲児施設清明寮が、清明学園と名称変更
1973(昭和48)年	しいのみ保育園が開園
1980(昭和55)年	有松崇、三代会長就任
1986(昭和61)年	簡易住宅新生寮廃止
1993(平成5)年	滝尾保育園新園舎が完成
1994(平成6)年	簡易住宅協生寮廃止 あけぼの学園、清明学園が合築施設として新たに発足。県立の盲児施設、県立のろうあ児施設から社会福祉法人設置の施設となる
1996(平成8)年	しいのみ保育園を明野しいのみ保育園と改称
1999(平成11)年	あけぼの学園、清明学園の合築施設に、知的障害者更生施設うえの園が新設される
2001(平成13)年	あけぼの学園、清明学園、うえの園の総合呼称が「福祉ハウス・クローバー」に決定する
2002(平成14)年	大分県福祉会50周年
2005(平成17)年	大分市立わかば園と青松園を移転統合した児童養護施設森の木が開園
2007(平成19)年	有松一郎、四代会長就任
2010(平成22)年	児童養護施設森の木が、地域小規模施設きんもくせいをスタート
2012(平成24)年	あけぼの学園と清明学園を統合し、清明あけぼの学園に改称
2014(平成26)年	明野しいのみ保育園に分園開設 児童養護施設森の木が、地域小規模施設さくらをスタート
2016(平成28)年	児童養護施設森の木が、児童家庭支援センター「ゆずりは」を開設
2017(平成29)年	滝尾保育園新園舎完成
2018(平成30)年	一時保護事業明日葉を開始 滝尾保育園で放課後児童支援事業 滝尾児童クラブがスタート
2020(令和2)年	明野しいのみ保育園新園舎完成
2021(令和3)年	児童養護施設森の木が、児童家庭支援センター HOPE を佐伯市に開設
2024(令和6)年	滝尾保育園の隣接地に、制度のはざまにいる子どものケアとご近所さんの顔がみえる拠点 えんえん開設予定

私たちの想いを伝えるメディア

大分県福祉会ってどんなところ？ どんな職業の人が働いているの？
いろいろな疑問にお答えできるよう、施設の雰囲気や実際に働く職員の想いや
日々の支援の様子などをさまざまなメディアを通してお伝えしています。



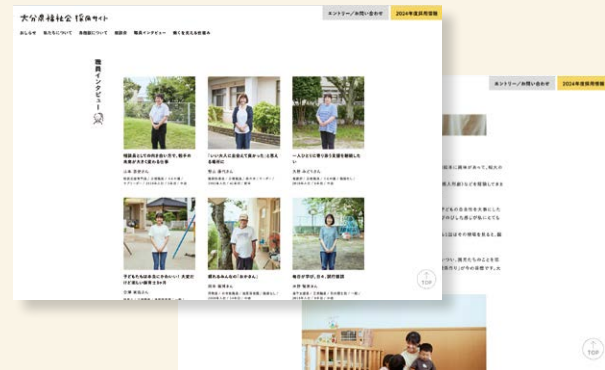
社内報

職員自ら取材・執筆し、働く私たちの生の声を取り入れた職員一人ひとりの個性がふれる内容となっています。各施設の様子やトピックスも載せており、各施設の日常の雰囲気がわかります。



法人Webサイト・法人パンフレット

各施設の特色や魅力を職員で再考しながら作成、伝えづらいそれぞれの福祉事業をわかりやすく紹介しています。今後も随時アップデートする予定です。パンフレットのPDFは、法人Webサイトからダウンロードして、ご覧いただけます。



採用Webサイト

勤務形態や勤務条件などの採用情報だけでなく、実際に働いている職員のインタビューや対談を紹介しています。写真も豊富で、法人や各施設の雰囲気を詳しく知ることができます。応募をご検討中の方はもちろん、たくさんの方に見ていただきたいです。



会報

今回大幅にリニューアルしました。法人内外のみなさまに大分県福祉会のニュースや各施設の取り組みの進捗をお伝えし、より透明性の高い、より地域にとって親しみやすい法人を目指します。



社会貢献活動

大分県福祉会は、利用者様、地域の皆様、職員がつながりながら、
さまざまな社会貢献活動をしています。

別府厚生館

- 別府八湯温泉まつり：湯けむり総パレード参加
別府市子ども会育成会連合会のメンバーとして、別府市の祭りなどの催事に参加しています。
- 三世代ゲートボール大会：館主催の行事開催を通し、地域の世代間交流を促進しています。
- 災害時の緊急避難場所：災害時の地域の避難所として施設を利用できるよう、地域と締結しています。
- AED研修：別府市消防本部・浜町出張所の指導によるAED講習を、地域の方と共に受講し、講習の場所を提供しています。



別府八湯温泉まつり

滝尾保育園

- たきお青空マルシェ：2022年から年1回、地域貢献・活性化を目的として開催しています。地域の方や園の保護者の方にも飲食や手作り雑貨等のブースの出店、参加をしてもらい、交流を図りました。
- 羽田東公園愛護会活動：保育園に隣接する羽田東公園の草むしりやゴミ拾いを、月に1度おこなっています。羽田東公園愛護会に入り、地域の方とともに公園の環境整備をおこなっています。
- 地域交流：地域の方と一緒にチューリップ・芋の苗植えをしたり、地域のふれあいサロンと年数回定期的に交流しています。



チューリップの苗植え

明野しいのみ保育園

- 地域清掃：月に1回、近くの公園や保育園周辺などのごみ拾いをおこなっています。
- 保育園ホールの貸し出し：年に1～2回、明野しいのみ保育園の多目的ホールを地域の話し合いの場として貸し出しています。
- 地域サロン：4、5歳児を対象に地域サロンの方々との交流の場を設けて、わらべうた遊びをしたり、季節の制作をしたりしています。



地域清掃

森の木

- ふれあい交流会（一人ぐらし高齢者支援）：賀来公民館と民生委員が中心となっておこなっていた事業に「福祉同士の繋がりを持てたら」と森の木やほかの福祉施設が加わり、協働して実施するようになりました。／7月に地域の一人暮らしのお年寄りを森の木と公民館にお招きし、お楽しみ会（歌、健康体操など）や食事会などをおこないます。毎年、30～40名の方が参加されます。2月には、7月に参加できなかった一人暮らしの高齢者に向けてお弁当を届けています。
- もちつき大会：地域の方々（森の木地区）、日本製鐵、森の木が共同でおこないます。多い年は100名以上が集まり、一緒に餅をつき、つきたてのお餅を調理する工程を通じて地域の方々と交流します。



ふれあい交流会

うえの園・清明あけぼの学園

- AED研修：年に1回地域の方にも参加していただき、職員と一緒にAEDの使い方の学習をおこなっています。施設内にあるAEDの場所を確認し、いつでも貸し出しができることをお伝えしています。
- 福祉避難所：台風などの災害時に大分市の要請に応じて、障がいのある方と付き添いの方の福祉避難所として登録をしています。施設内の一部スペースを開放し、非常食や寝具類などを提供できるようにしています。
- 地域清掃：大分市一斉清掃日には、施設で生活している人たちも職員と一緒に地区の清掃に参加をしています。また、秋には日頃利用している公園や近隣の歩道のゴミ拾いや草取りをしています。



AED研修



地域清掃

伝統行事 友情の蛭

竹田市立竹田小学校や明治地区のみなさんと蛭を通して交流を深めています。その交流の歴史は長く、今年度で第71回を迎えました。受け取った蛭を清明あけぼの学園で大切に育て、孵化した幼虫は竹田の小川に放流し、里帰りをします。交流では視覚障がいや聴覚障がいについて職員から話をしたり、みんなが楽しめるレクリエーションをしたりと、お互いのことを知り、理解を深めるためのとても大切な時間となっています。





Photo: Kaichiro Fujimoto



ひとりの困りごとにも まなざしを向ける

まわりの情報をぐんぐん吸収して、日々変化していく子どもたちは、まるで社会や環境を測るものさしのようです。

子どもたちが笑顔になれる場所は、周りの大人も職員も地域もみんなが笑顔になれる、どんな人でもきっと生きやすい場所です。

「大分県福祉会」では、そうした場の実現を目指して、子どもを中心に多岐にわたる事業をおこなっています。年齢や障がいの有無、家庭環境に関係なく、みんなが笑顔になるには、本音を言えば、既存の枠組みの中では、行き届かないこともたくさんあります。

だからこそ、このもどかしい気持ちを原動力に変えて、まだ見えていない人々の生きづらさに向き合い、真っ先に手を差し伸べられる存在であるために、考えることを諦めないこと。それが、私たち大分県福祉会の役割だと考えています。



各施設の連絡先・事業内容

母子生活支援施設 別府厚生館

TEL 0977-22-0418 (24時間受付) FAX 0977-25-9211 メール b-kouseikan@oitakenfukushikai.com
母子生活支援／緊急一時保護事業・ショートステイ／子育て相談

障害者支援施設 うえの園

〒870-0823 大分県大分市東大道 2-3-3
TEL 097-546-3551 FAX 097-543-4414 メール uenoen@oitakenfukushikai.com
施設入所支援／生活介護事業 (通所の方を含む日中の活動)／短期入所事業 (宿泊)／日中一時支援事業 (日帰り)

障害児入所施設 清明あけぼの学園

〒870-0823 大分県大分市東大道 2-3-3
TEL 097-546-3771 FAX 097-543-4414 メール uenoen@oitakenfukushikai.com
障害児入所施設／一時保護委託事業／短期入所 (宿泊)／日中一時支援事業 (日帰り)／盲児・ろうあ児等専門支援事業／
児童発達支援管理責任者による相談受付／発声発語訓練

児童養護施設 森の木

〒870-0862 大分県大分市大字中尾 457-1
TEL 097-549-3508 FAX 097-549-0535 メール morinoki@oitakenfukushikai.com
児童養護施設／地域小規模児童養護施設：さくら・きんもくせい／一時保護所 明日葉／里親支援／
児童家庭支援センター ゆずりは・HOPE

保育所 滝尾保育園

〒870-0942 大分県大分市大字羽田 456
TEL 097-569-3384 (滝尾児童クラブ TEL 080-8592-2479) FAX 097-567-3811 メール takio@oitakenfukushikai.com
0～5歳児保育／一時預かり保育／子育て広場・子育て相談／滝尾児童クラブ

保育所 明野しいのみ保育園

〒870-0164 大分県大分市明野西 2-25-2
TEL 097-558-2211 FAX 097-556-6944 メール akenoshiinomi@oitakenfukushikai.com
0～5歳児保育／子育て広場・子育て相談

相談事業の連絡先

児童家庭支援センター ゆずりは

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL／FAX 097-574-8525 (24時間受付) メール jikasen.yuzuriha@oitakenfukushikai.com

児童家庭支援センター HOPE

〒876-0853 大分県佐伯市中村東町 3-18
TEL 0972-28-6317 (24時間受付) FAX 0972-28-6324 メール jikasen-hope@oitakenfukushikai.com

相談支援事業所 うえの園

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL 097-574-8535 (月～土 10:00-19:00 ※祝祭日は除く)

社会福祉法人 大分県福祉会 会報 第88号

発行日：2023年10月1日 発行者：有松 一郎

編集責任：安藤 覚 (森の木施設長) 編集委員：藤岡 大樹 (森の木／ブランディング委員)、安部 渚 (滝尾保育園／ブランディング委員)、岩崎 祐貴・城戸 海咲妃 (森の木)、米野 智恵 (別府厚生館)、津守 克彦・平安 智哉 (うえの園)、後藤 美佳 (清明あけぼの学園)、浅利 桃子・江田 望 (滝尾保育園)、重田 綾・小松 敏美 (明野しいのみ保育園) 顧問：安東 一夫 (大分県福祉会事務局長) 編集ディレクション：竹尾 真由美 デザイン：UMA/design farm